

平成 22 年 3 月 24 日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

第 9 回経営諮問委員会の議事概要について

平成 22 年 3 月 17 日に第 9 回経営諮問委員会を開催した。議事の概要は以下のとおり。

1. 諮問事項

平成 22 事業年度 事業計画（案）について

当社の「平成 22 事業年度 事業計画（案）」について説明を行い、平成 22 年度の経営の方針、収支計画等について審議いただいた。委員からは、いくつかのご質問、ご意見があったが、「平成 22 事業年度 事業計画（案）」について反対の表明はなく、経営諮問委員会の了承を得た。

なお、委員からの主なご質問及び当社の回答は以下のとおり。

- 「原産地証明書プロジェクトの実証実験」とは具体的にどのようなことをするのか。
⇒ 今年度、PAA（Pan-Asian e-commerce Alliance）の参加システムのうち、マレーシアの Dagang Net と当社の国際連携システムとの間で接続試験を実施したところであり、平成 22 年度は双方のシステム間において、原産地証明書情報を実際に交換する試験を行うこととしている。
なお、原産地証明書の電子的な取扱いについては、日本、マレーシア双方の税関当局間の合意が必要となることから、協議の状況を踏まえつつ対応していくことになる。
- 「外部研修機関が実施する専門研修」について、公務員の研修機関が行う研修も含むのか。
⇒ 公務員の研修機関が行う研修にも参加させてもらうこととしている。具体的には、税関や国土交通省の研修機関を利用させていただき、専門的な知識の習得を図ることとしており、今年度も既に 4 名の職員がそれぞれの研修機関で研修を受講したところである。
- 情報セキュリティの強化に努めるとのことだが、センターは何か国際規格（ISO 等）を取得しているのか。
⇒ 国際規格は取得していないが、当社の情報セキュリティに関しては、政府が定める統一基準に沿って規程を整備し、運用しているところである。

2. 報告事項

(1) 第2回情報処理運営協議会 議事次第等について

3月24日(水)に開催する第2回情報処理運営協議会の議事次第等について、その概要を報告した。

(2) NACCS の主要業務指標について

平成22年2月までの NACCS の稼働状況及び契約者数の推移について報告を行った。

3. 意見開陳・情報提供

圓川委員より、国際産業競争力と文化についての情報提供があった。

(以上)